

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上	電話番号	087-839-2411	
	基本事業	特産品の育成・振興	事業実施主体	市	
	事務事業	特産品育成・振興事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	本市特産品等を広くPRするとともに、交流都市等を中心とした各種物産展等へ出展し、特産品の振興に努める。				
6年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	特産品のPR対象者数【出展物産展等の来場者数】
意図（どのような状態にしたいか）	参加した物産展等において、特産品等を広くPRし、経済の活性化につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
出展物産展等の出展回数	件	1	2	6	0	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
				目標値				
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	3,512	7,362	7,664	0
（事業費）	〔円〕	265	1,450	1,718	0
（職員人件費）	〔円〕	3,247	5,912	5,946	0

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	統合
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
各種交流都市等での物産展に出展し、本市の特産品や観光をPRした。また、「空の駅ががわ」において、高松空港の国内線利用者向けに、伝統工芸品等をPRした。今後もPR活動を継続する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
地域経済の活性化のため、特産品の育成・振興により地域ブランドの価値を高めることが求められており、本事業の継続実施は妥当である。			

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上	電話番号	087-839-2411	
	基本事業	特産品の育成・振興	事業実施主体	市	
	事務事業	伝統的ものづくり支援事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	盆栽・漆器・石製品を始めとする、本市伝統的ものづくり産業を振興するため「高松市伝統的ものづくり振興条例」（平成26年度施行）の基本理念に基づき、伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大や、次世代への担い手の確保・養成を図り、特産品の育成・振興とブランド化の推進及び地場産業の活性化を推進する。				
6年度概要	審議会「シャパン漆サミット」出席 地域一体型オープンファクトリー事業 高松市特産品・観光振興実行委員会負担金 伝統的ものづくり後継者雇用・育成奨励金				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務有）		

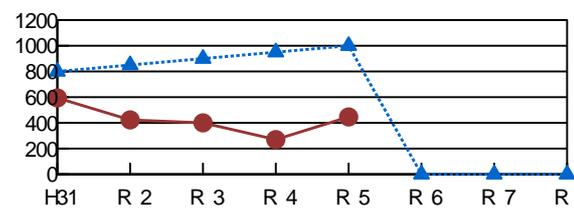
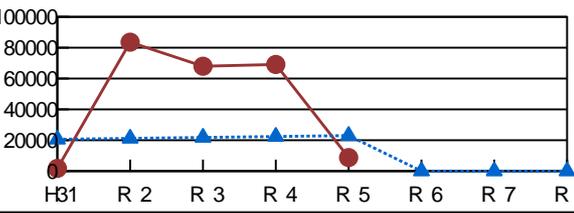
【事業の目的】

対象（何を）	伝統的ものづくり産業
意図（どのような状態にしたいか）	伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大・担い手育成

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
普及啓発事業開催件数	件	13	12	13	0	15
販路拡大事業出展等件数	件	6	6	6	0	4

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
普及啓発事業等参加人数	人	目標値	900	950	1,000	0	1,000
		実績値	400	270	446		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「学校巡回教室」については、開催希望のあった小学校3校において開催されたが、「夏休み親子体験教室」については、台風の接近により一部の開催ができなかったため、参加人数が目標に達しなかった。 							(達成度) 44.6% 15点
販路開拓事業等来場者数	人	目標値	21,800	22,400	23,000	0	23,000
		実績値	67,971	69,117	8,754		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和4年度をもって「たかまつ工芸ウィーク」の実行委員会が解散され、対象事業が廃止となったため、来場者数の実績値の大幅な減少につながり、目標を達成できなかった。 							(達成度) 38.1% 13点

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	20,124	14,592	15,481	19,840
（事業費）	〔円〕	8,270	6,285	7,126	11,485
（職員人件費）	〔円〕	11,854	8,307	8,355	8,355

【評価】

評価ランク (A～D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	統合
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

振興事業補助金については、審査員からの専門的意見のフィードバックや補助事業の広報等に協力するなど補助制度の魅力を高めた。また、産業発展事業補助金では、販路拡大事業に加え、後継者育成事業に補助を行っている。人材育成及び普及啓発活動は、積極的かつ継続的に取組を行う必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域経済の活性化のため、本市の重要な伝統的ものづくり産業の後継者確保と技術・技法の伝承を図る取組が必要であり、本事業を充実させることは妥当である。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上		電話番号	087-839-2422
	基本事業	特産品の育成・振興		事業実施主体	市
	事務事業	高松盆栽産地ブランド確立事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「高松市伝統的ものづくり振興条例」の基本理念及び「『高松盆栽の郷』基本構想」に基づき、高松盆栽の総合的な振興を図るため、盆栽事業者と連携し、高松盆栽PR、盆栽の生産振興、輸出拡大による販路の拡大等を推進し、人づくりの推進及び高松盆栽の育成・振興並びにブランド化を図る。				
6年度概要	「高松市伝統的ものづくり振興条例」の基本理念及び「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、高松盆栽の総合的な推進を図るため、香川県、JA及び盆栽事業者等と連携し、高松盆栽PR、生産振興、輸出拡大、販路拡大等を推進し、高松盆栽の育成・振興及びブランド化を図る。				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

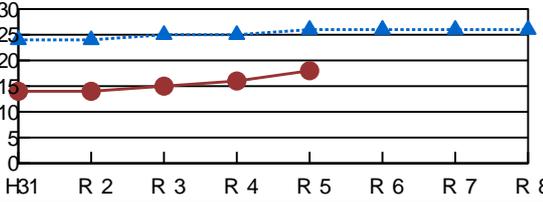
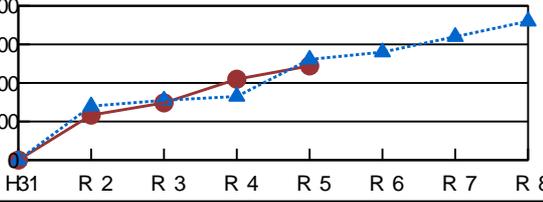
【事業の目的】

対象（何を）	盆栽の振興
意図（どのような状態にしたいか）	高松盆栽の生産振興及び地域の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
イベント等における高松盆栽のPR開催回数	回	6	10	12	5	5

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
盆栽輸出登録申請者数	人	目標値	25	25	26	26	26
		実績値	15	16	18		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） EU向け黒松盆栽の輸出解禁を受け、新たな登録申請者があったものの、高齢化等のため、登録を取りやめる生産者もあり、成果目標の達成には至らなかった。 							(達成度) 69.2% 24点
拠点施設における盆栽等販売金額	千円	目標値	31,000	33,000	52,200	56,000	52,200
		実績値	29,666	41,943	48,844		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和2年4月にオープンした拠点施設「高松盆栽の郷」については、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、高松盆栽学校や高松盆栽の郷フェスタ等の効果的な開催により、目標を僅かに下回ったものの、順調に販売を伸ばしている。 							(達成度) 93.6% 32点

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	千円	28,749	14,218	11,402	26,916
（事業費）	千円	19,689	7,482	5,380	20,894
（職員人件費）	千円	9,060	6,736	6,022	6,022

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

高松盆栽学校や高松盆栽の郷フェスタ、高松盆栽WEEK、高松盆栽ギフト新商品開発事業及び高松盆栽アートコンテスト事業へ取り組み、効果的なPRに努めてきたことにより、拠点施設における販売金額は大幅に増加した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

県、JA及び盆栽生産者と連携して、引き続き「高松盆栽の郷」基本構想に基づく取組を行う。